

平成 29 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 ア ビ ッ ク ス 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 熊 崎 友 久
(コード番号：7836)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 本 部 長 桐 原 威 憲
(TEL. 045-670-7720)

戦略転換による特別損失の計上に関するお知らせ

平成 29 年 2 月 10 日開催の取締役会において、中国製 LED 表示機の品質が確保できる見込であることから、今後も継続的に導入していく方針を決定し、合わせて当社製品の一部について、国内製造の撤退を決議いたしました。当該決議により、国内製造に必要な原材料および製品の評価損を特別損失にて計上しましたので、お知らせいたします。

記

1. 撤退の理由

2020 年東京オリンピック開催に向け、競技場をはじめ、外食産業等の店舗における大型ビジョンの需要が伸長しております。

また、LED ディスプレイの市場についても価格の動きが収束し、落ち着いてきたことから、従来のパチンコ産業から、自動車ディーラー、飲食店等、一般の店舗にまで市場が拡大しております。

このような環境の中、当社においては品質を重視した LED ディスプレイを、現状国内にて製造しておりますが、上述の市場拡大に対応するため、低価格で調達可能な輸入品の導入も同時に行ってまいりました。そして、中国上場企業との提携を行い、当社スタッフの現地派遣による現場教育、製造ライン監督等の管理体制の強化施策により、一定の高品質と安定供給を確保出来ると判断し、今後は、主力製品を本格的に中国製としていく中で、情報機器事業向け製品の一部を国内製造から撤退することといたしました。

その他の情報機器事業向け製品であるポールビジョン、A-Line、および機器リース事業の製品につきましては、引き続き国内にて製造し、納入済みの国内製造品に関する修理メンテナンス等は、今後に対応してまいります。

これにより、国内製造に必要な原材料および製品のたな卸資産評価損 38,553 千円を平成 29 年 3 月期第 3 四半期累計期間において、特別損失にて計上いたしました。

なお、当該戦略転換により、当社は製品在庫を保有する事なく、多品種のハードウェアを提供出来るため、キャッシュ・コンバージョン・サイクルの改善も見込んでおります。

2. 業績への影響

通期業績への影響は、本日「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した通りでございます。

以上